

(2) 年 教科【 保健体育 】

使用教科書	中学校体育実技 新版中学校保健体育			
学習の目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動に親しむ資質、能力の育成 ・体力の向上、心身の調和的発達 ・危機管理能力を含めた実践力の向上 			
年間の 授業内容		体育 男子	女子	保健
前期	4月	集団行動・体づくり運動 新体力テスト	集団行動・体づくり運動 新体力テスト	体育理論 (運動やスポーツが心身の 発達に与える効果と安全)
	5月	創作ダンス	創作ダンス	
	6月	陸上競技(走り幅跳び)	球技(バレーボール)	健康な生活と病気の予防
	7月	水泳(背泳ぎ)	水泳(背泳ぎ)	
	9月	武道(剣道)	陸上競技(走り幅跳び)	
	後期	10月 球技(バレーボール)	球技(ハンドボール)	
		11月 球技(バスケットボール)	陸上競技(長距離走)	
		12月 陸上競技(長距離走)	武道(剣道)	
		1・2月 球技(ソフトボール)	球技(バドミントン)	
		2・3月 球技(バドミントン)	球技(ソフトボール)	傷害の防止
特色ある 学習など	個人でもグループでも直面する課題に対してどのようにして改善するか考えながら行う、問題解決思考型学習が基本となります。			
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるように活動できる。 ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けることができる。 ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を持つとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする姿勢がある。 			
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む態度、練習に取り組む姿勢、安全に気にかけて行動、周囲とのコミュニケーション行動、課題の提出、服装や準備 ・提出物の内容、課題解決を目指した行動 ・実技テスト、発表 ・考査(前期後期ともに授業中にペーパーテストを行います。) 			
注意事項	実技教科であるため、ケガには十分に注意しつつ、周囲の安全を確認しながら行いましょう。			